

24 試験検査

(1) 感染症検査

所管課

生活衛生課

根拠法令等

地域保健法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
結核に関する特定感染症予防指針、後天性免疫不全症候群に関する予防指針
足立保健所健康相談実施要綱

目的

感染性微生物（細菌およびウイルス）検査や血液中の抗体検査等を行い、感染者の発見により感染症の拡大防止を図る。

事業内容

- ア 腸内微生物検査（赤痢菌、腸管出血性大腸菌O157、ノロウイルス等）
衛生管理の一環としての依頼検査、患者発生時等の感染症拡大防止のための行政検査。

事業名		項目	受付窓口
依頼検査	健康相談	細菌	中央本町地域・保健総合支援課 各保健センター 生活衛生課（子ども施設運営課等実施分）
		ノロウイルス	生活衛生課
行政検査	感染症発生 関係者・経過者等	細菌 ノロウイルス等	感染症対策課
	有症苦情・調査		生活衛生課

- イ HIV等性感染症・風しん抗体等検査

感染症の拡大防止および区民の健康不安解消のための血液・尿・咽頭ぬぐい液検査。

*風しん抗体検査は、令和元年度から足立区医師会委託となったため終了。

- ウ 結核菌感染検査（結核菌塗抹・培養、インターフェロン γ 遊離試験）

管理検診としての喀痰検査、接触者健康診断としてのインターフェロン γ 遊離試験（QFT、T-SPT）。

- エ 外部精度管理

検査精度確保のため、外部機関が配布する未知検体の検査。

実績表

■感染症検査実施状況(検査検体数)

区分 年度	検体総数	腸内微生物	HIV等 性感染症	風しん 抗体等	結核菌	
					喀痰塗抹・ 培養	インターフェロ ン γ 遊離試験
29	24,178	23,322	506	129	1	220
30	27,685	25,582	549	1,245	12	297
元	25,025	24,224	645	72	1	83

■腸内微生物検査実施状況(検体数)

項目 年度	総検体数	細菌		腸管系ウイルス	
		赤痢菌・パラチフスA菌 ・チフス菌・サルモネラ等	腸管出血性 大腸菌	ノロウイルス	その他の腸管 系ウイルス
29	23,322	11,872	11,399	48	3
30	25,582	12,910	12,563	109	-
元	24,224	12,355	11,817	52	-

■令和元年度腸内微生物検査実施状況(事業別)

項目	区分	総検体数	依頼検査		行政検査	
			健康相談		関係者・ 経過者等	有症苦情 ・調査
			保健 センター等	生活 衛生課		
赤痢・パラチフスA菌・ チフス菌・サルモネラ等		12,355	5,451	6,863	6	35
腸管出血性大腸菌O157		11,720	4,821	6,863	1	35
その他の腸管出血性大腸菌		97	2	・	25	70
ノロウイルス		52	・	18	-	34

■令和元年度細菌検出状況

月	区分		細菌名	血清型・毒素型	検出数
6	行政	有症苦情	カンピロバクター ジェジュニ	-	1
6	依頼	健康相談	サルモネラ	04群: Schwarzengrund	1
6	依頼	健康相談	サルモネラ	04群: Schwarzengrund	1
7	依頼	健康相談	サルモネラ	07群: Thompson	1
10	行政	有症苦情	ウエルシュ	エンテロトキシン(-)	6
10	行政	有症苦情	黄色ブドウ球菌	エンテロトキシン(-)	2
11	行政	関係者	ソネ赤痢菌	invE(+) ipaH(+)	1
12	依頼	健康相談	サルモネラ	04群: Typhimurium	1
3	行政	経過者	腸管出血性大腸菌 O26	VT1(+)VT2(+)	1

■令和元年度ウイルス検出状況

月	区分		ウイルス名	グループ	検出数
10	行政	有症苦情	ノロウイルス	G I	20
12	依頼	健康相談	ノロウイルス	G II	1

■ HIV等性感染症検査結果

区分 年度	総数	HIV 抗原・抗体		クラミジア抗原		梅毒血清反応	
		件数	陽性数 (陽性率)	件数	陽性数 (陽性率)	件数	陽性数 (陽性率)
29	506	253	1 (0.4)	125	6 (4.8)	128	5 (3.9)
30	549	285	1 (0.4)	131	8 (6.1)	133	4 (3.0)
元	645	335	1 (0.3)	150	6 (4.0)	160	3 (1.9)

■ 風しん抗体等検査結果

区分 年度	風しん抗体		麻しん・風しん (PCR)	
	検査実施件数	ワクチン接種 推奨件数 (推奨率)	麻しん (陽性数)	風しん (陽性数)
29	129	22 (17.1)	・	・
30	1,245	266 (21.4)	・	・
元	・	・	36 (-)	36 (11)

(ワクチン接種推奨：16倍以下)

■ 結核菌検査結果 (喀痰塗抹・培養)

区分 年度	検査人数 (件数)		陰性人数 (件数)		塗抹陽性人数 (件数)		培養陽性人数 (件数)	
	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
29	1	1	1	1	-	-	-	-
30	7	12	7	12	-	-	-	-
元	1	1	1	1	-	-	-	-

■ 結核菌検査結果 (インターフェロン γ 遊離試験)

区分 年度	検査件数	陰性	判定保留	陽性 (陽性率)	判定不可	その他
29	220	190	12	18 (8.2)	-	-
30	297	249	23	24 (8.1)	1	-
元	83	78	2	2 (2.4)	1	-

■ 令和元年度外部精度管理

実施機関	調査	調査検体	項目	検体数
東京都 健康安全研究 センター	微生物学	スワブ	赤痢菌、サルモネラ、 腸管出血性大腸菌	5

24 試験検査 (2) 食品検査	所管課
	生活衛生課

根拠法令等	食品衛生法
-------	-------

目 的
 区民が健康で快適な食生活を過ごすために、食品の衛生等に関わる監視・指導・相談に対応した検査を行い、検査結果及び関連する保健衛生情報の提供を行う。

事業内容
 ア 安全な食品を区民に提供するために行っている食品の微生物学的検査及び理化学的検査。

検査区分	依頼先等	受付窓口	検査項目
収去	食品監視指導計画に基づき実施		細菌、ノロウイルス 食品添加物、残留農薬等
苦情相談・調査	区民等	生活衛生課	
一般依頼*	区内製造業者等	生活衛生課	細菌 黄色ブドウ球菌
給食	公立		
手指ふきとり	(学校・保育園)		

*平成30年度から食品の一般依頼検査は廃止。

イ 外部精度管理
 検査精度確保のため、外部機関が配布する未知検体の検査。

ウ 講習会等講師派遣及び情報提供

実績表

■食品検査実施状況(検体数)

区分 年度	検体総数		収去		苦情相談・調査 (参考品含む)		一般 依頼	給食	手指 ふき とり
	微生物	理化学	微生物	理化学	微生物	理化学	微生物	微生物	微生物
29	905	208	306	180	30	28	41	141	387
30	885	187	305	159	64	28	・	137	379
元	881	193	328	159	41	34	・	136	376

■令和元年度食品微生物検査実施状況(項目別検査数)

項目	区分	項目総数	収去	苦情相談 ・調査	給食	手指 ふきとり
項目総数		3,352	1,810	195	952	395
細菌数		466	310	20	136	・
大腸菌群		462	310	16	136	・
大腸菌		480	322	22	136	・
腸管出血性大腸菌		395	231	28	136	・
黄色ブドウ球菌		856	322	22	136	376
サルモネラ		419	248	35	136	・
カンピロバクター		136	-	-	136	・
病原ビブリオ		62	46	16	-	・
クロストリジア・ウェルシュ菌		17	-	17	-	・
カビ・酵母		3	-	3	・	・
その他		50	15	16	-	19
ノロウイルス		6	6	-	・	・

■ 令和元年度食品微生物検査不適合項目結果

食品内訳	不 適 合		不 適 合 項 目 数			
	検体数	項目数	細菌数	大腸菌群	大腸菌	黄色ブドウ球菌(エンテロトキシン)
総 数	27	32	16	14	1	1(0)
未加熱そう菜	3	4	1	2	-	1(0)
加熱済そう菜	4	4	1	2	1	-
菓子	6	7	3	4	-	-
弁当・その他	14	17	11	6	-	-

■ 令和元年度食品微生物主な苦情相談事例

事例名	検 査 結 果
レモンジュースにカビ様異物	Penicillium 属
マドレーヌにカビ	Penicillium 属、Cladosporium 属

■ 令和元年度食品理化学 収去検査実施状況 (項目別検査数)

項 目	項目数 (検体数×成分数)
項目総数	4,770
着色料(食用タール色素 12 成分)	852
保存料(10 成分)	770
甘味料	87
漂白剤	15
酸化防止剤	8
発色剤	16
酸価・過酸化物価	10
金属類	-
農薬(109 成分)	2,616
動物用医薬品(24 成分)	264
容器包装等(材質試験・溶出試験等)	131
その他	1

成分数の記載がないものは、検体により成分が異なる。

■ 令和元年度食品理化学 苦情相談検査内訳

		検体数 (検査に供した参考品含む)	項目数
総 数		34	57
内 訳	異味・異臭	2	2
	異物	13	19
	有症苦情	-	-
	着色・変色	19	36
	その他	-	-

■ 令和元年度外部精度管理

実施機関	調査	調査検体	項目	検査数
一般財団法人 食品薬品安全 センター	微生物学	ハンバーグ 加熱食肉製品 (加熱殺菌後包装)	E. coli 検査 (定性)	2
	微生物学	ゼラチン基材・氷菓	一般細菌数測定検査 (定量)	1
	微生物学	マッシュポテト 加熱食肉製品 (加熱殺菌後包装)	黄色ブドウ球菌検査 (定性)	2
	理化学	あん類	食品添加物検査 (定性) 着色料	1
東京都 健康安全研究 センター	微生物学	おかゆ (細菌数：そうざい、大腸 菌：アイスクリーム、腸炎ビ ブリオ：ゆでだこ)	食品細菌検査 (細菌数、大腸菌、 腸炎ビブリオ)	6
	理化学	キャラメルシロップ	食品化学検査 保存料 (ソルビン酸)	1

■ 令和元年度衛生講習会講師派遣及び情報提供

	内 容	対象
衛生講習会 講師	試験検査について	栄養士 大学生
機関紙投稿	パラオキシ安息香酸エステル類 (保存料) の回収率 について	特別区検査担当者

■プール水検査実施状況

区分 年度	検体総数	項目総数	小中学校プール*		行政検査	
			検体数	項目数	検体数	項目数
29	500	2,929	412	2,575	88	354
30	506	2,950	416	2,600	90	350
元	502	2,916	414	2,588	88	328

*小中学校プール水は、各校1回2ポイントで年2回実施（うち1校は改築のため年1回）。試験所で測定した残留塩素も含む。

令和元年度の小中学校プールは、文部科学省の「学校環境衛生の基準」に適合しないプールが14校、不適合率は6.8%であった。

■災害時協力井戸等検査実施状況

区分 年度	検体総数	項目総数	災害時協力井戸		防災対策設備設置 公園井戸	
			検体数	項目数	検体数	項目数
29	161	1,288	161	1,288	・	・
30	199	1,592	147	1,176	52	416
元	197	1,576	145	1,160	52	416

飲用以外のトイレ、清掃、洗濯、手洗いなどの生活用水として使用する。

■レジオネラ属菌検査実施状況

区分 年度	総数	浴槽水	プール・ ジャグジー等	患者関連調査
29	130	96	34	-
30	100	87	11	2
元	95	82	13	-

■令和元年度レジオネラ属菌検査結果

検査名 種別	培養法			LAMP法*	
	検査数	陽性数	菌種・血型（検出数）	検査数	陽性数
総数	95	3	<i>L. pneumophila</i> 6群(2)、 <i>L. pneumophila</i> 5群(1)	3	2
浴槽水	82	2	<i>L. pneumophila</i> 6群(2)	2	1
プール・ ジャグジー等	13	1	<i>L. pneumophila</i> 5群(1)	1	1
患者関連調査	-	-	-	-	-

*LAMP法は原則、培養法検査で基準値以上の菌を検出した施設の洗浄等指導を行った後の陰性確認として実施。

■令和元年度外部精度管理

実施機関	調査	調査検体	項目	検査数
東京都健康安全 研究センター	水質	水道水及びプール水	鉄、過マンガン酸 カリウム消費量	2

■令和元年度情報提供

内 容	対象
小中学校プール水質検査のまとめ	学務課

24 試験検査

(4) 家庭用品・工場廃水シアン検査

所管課

生活衛生課

根拠法令等

有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
毒物及び劇物取締法

目的

家庭用品や工場廃水シアンの検査を行い、健康被害の未然防止を図るとともに、原因究明に繋げる。

事業内容

ア 家庭用品検査

衣類や家庭用エアゾル製品、洗浄剤等による健康被害を未然に防止するため、ホルムアルデヒド、メタノール等を検査。

イ 工場廃水シアン検査

区内メッキ工場の廃水中シアン含有量検査。

実績表

■家庭用品検査実施状況

項目	年度	29	30	元	内 訳		
					繊維製品*		家庭用化学製品
					乳幼児用衣料	大人子供用衣料	接着剤 エアゾル製品 洗浄剤等
検体総数 (項目総数)	55 (96)	55 (79)	55 (98)	34 (56)	16 (22)	5 (20)	
基準違反件数	-	-	-	-	-	-	
ホルムアルデヒド	82	79	78	56	22	-	
塩化ビニル	-	-	5	-	-	5	
メタノール	-	-	5	-	-	5	
テトラクロロエチレン	-	-	5	-	-	5	
トリクロロエチレン	-	-	5	-	-	5	
pH	-	-	-	-	-	-	
水酸化カリウムまたは ナトリウム	-	-	-	-	-	-	
塩化水素または硫酸	-	-	-	-	-	-	
容器試験	-	-	-	-	-	-	

*繊維製品のホルムアルデヒドは、素材別に検査する場合があるため実施数が検体数よりも増える。

■工場廃水シアン検査実施状況

年度	区分	検体総数	基準値超過数	初回検査	再検査
29		22	-	22	-
30		21	-	21	-
元		18	-	18	-

